

奇跡の“なでしこジャパン” 世界が認めるナンバー1に!

湖 INTERVIEW

サッカー日本女子代表コーチ
びわこ成蹊スポーツ大学准教授

望月聡さん

女子サッカーワールドカップドイツ大会で優勝し、
2012年ロンドン五輪への出場を決めた
「なでしこジャパン」(日本女子代表)。
コーチとしてチームを支える望月聡さんは、
オリンピックで金メダルをめざす一方、
故郷・滋賀のサッカー文化を高めるために
選手や指導者の育成にも尽力しています。



ワールドカップドイツ大会では金メダルとファインプレー賞が授与された。



大道 ●女子サッカーワールドカップ（以下W杯）ドイツ大会優勝、並びにロンドン五輪出場決定、本当におめでとうございます。国民栄誉賞にも輝いた「なでしこジャパン」の快挙について、コーチングスタッフの一人として、率直なご感想をお聞かせいただけませんか。

望月 ●素直にうれいというのが一番の感想です。表彰台に立つ「なでしこ」たちを見た時、男子のW杯南アフリカ大会で優勝したスペインの選手の姿と重なり、よく勝ったな、凄いことを成し遂げたなど、いろいろな思いが込み上げました。

大道 ●アメリカとの決勝戦は日本では深夜に放送され、私は目覚ましをかけて起きて見ていました。後半終盤にアメリカに先制され、私はあきらめかけたのですが、その直後に追いついた。延長戦でも先に点を取られましたが今度も土壇場で追いつき、最後はPK戦を制して勝ちました。



女子ワールドカップドイツ大会で「なでしこ」たちと練習する望月さん(左)。写真提供/日本サッカー協会

奇跡的というか、本当に素晴らしい試合で感動しました。

望月 ●ありがとうございます。

ます。アメリカはFIFA(国際サッカー連盟)ランキング1位。前半でその強さを見せつけられましたが、選手たちはよく防いでくれました。

大道 ●決勝トーナメントは強豪揃いでしたね。戦っていく中で「これはいけないな」という手応えを感じられたのはいつですか。

望月 ●予選リーグで勝ち進む中で自信をつけ、準々決勝で過去2回連続優勝している開催国ドイツに延長の末に勝った時、みんなが「優勝できるのでは」と思ったのではないのでしょうか。試合を重ねるごとに選手の目つき、顔つきが変わり、アスリートらしさを感じました。

大道 ●高校野球でも勝ち上がるごとに成長していくのを実感することが多々あります。みんなの気持ちもひとつになつていきますね。

望月 ●私たちは、自分で判断して決断できる、自立した選手を育てたいと考えています。刻一刻と変わる勝負の局面で、コーチが指示を出してから動くのでは遅い。その瞬間に彼女たちが自分で判断してプレーしないとけません。そういう意味では、北京五輪後に海外でプレーする選手が増え、言葉や環境の壁を乗り越えて

たくましくなり、自立してくれたことも大きかった。

大道 ●強い気持ちを持っている選手が一流になるのでしょうか。

望月 ●優勝できた一番の勝因は、最後まであきらめない粘り強さだと思います。強いアメリカに先制点を取られたら、普通は「ここまでか…」と思いますが、彼女たちの心は折れなかった。試合に限らず、日頃から練習のあとに自主的にミーティングやビデオ研究を重ねていたため、それが粘り強さにつながったのでしょう。

大道 ●昨年は大きな震災がありました。が、なでしこたちの活躍は日本を勇気づけてくれました。彼女たちのプレーにみんなが感動したと思います。まさに国民栄誉賞にふさわしい。

望月 ●予選リーグで戦っている時から、日本から応援のメールや手紙がたくさん届きました。被災された方から「なでしこのがんばりが私たちに夢や希望を与えます」という言葉をいただき、彼女たちはそれを見て一層がんばれたと思います。

大道 ●「なでしこジャパン」におけるコーチの役割を簡単に教えてくださいませんか。

望月 ●佐々木則夫監督がチームの方向性や目標を決め、私は選手の意識がそこに向くようにサポートしたり、コミュニケーションを図ります。選手がやりやすい環境をつくるのが大事で、褒めるだけでなく悪いところも



ワールドカップ試合中のベンチ風景(右端が佐々木監督、その左が望月さん)。写真提供/日本サッカー協会

指摘し、それぞれの選手の個性を出せるように接しています。

大道 ●佐々木監督の著書『なでしこ力』を拝読しました。監督とは選手を鞭で叩く御者ではなく、選手を目的地に連れて行く馬車みたいなもの——と考えられているようですね。

望月 ●「コーチ」という言葉にはもとも馬車で行きたい所に運ぶという意味があるそうです。佐々木監督はその意味を理解し、「こういうサッカーをしないか」と選手たちを納得させてから取り組む。だから彼女たちは苦しい練習や問題にぶつかっても「私たちが決めたこと」と捉えます。

選手と一緒に学ぶというスタンスを持った監督だと思っています。

大道 ●望月さん自身も指示するより、選手たちに問い掛けることを大切にしておられるそうですね。



“なでしこ”が日本に与えてくれた勇氣。
まさに国民栄誉賞にふさわしい活躍ですね。

滋賀銀行取締役頭取 大道良夫

自分で判断できる自立した選手たちの
最後まであきらめない粘り強さが勝因です。

サッカー日本女子代表コーチ 望月聡さん(もちづきさとる)
びわこ成蹊スポーツ大学准教授





Profile ● 望月 聡

1964年生まれ、大津市出身。滋賀県立守山高専学校では高校選手権ベスト4。大阪商業大学では大学選手権3連覇、総理大臣杯2連覇に貢献。日本サッカーリーグ1部の日本鋼管を経て、Jリーグ発足後は浦和レッドダイヤモンズ、京都パープルサンガでプレー。日本代表として国際Aマッチ7試合に出場。2008年びわこ成蹊スポーツ大学准教授に就任。同年より日本女子代表コーチにも就任。北京五輪ベスト4、広州アジア大会優勝、FIFA女子ワールドカップドイツ大会の優勝に貢献。指導者として初の滋賀県スポーツ特別賞を受賞。
※写真はJリーグ現役時代の望月さん

を認識させてくれ、自分でもそのやり方が好きだったので、いつしか私の指導者哲学になりました。
大道 ● 指導者として、これからの目標を聞かせていただけますか。

望月 ● まずは、びわこ成蹊スポーツ大学サッカー部の監督をしているので、大学日本一をめざし、誰もが認めてくれるいいチームをつくりたいと思っています。「なでしこジャパン」では、佐々木監督と一緒にロンドン五輪で優勝すること。私はこれまで、仲間の大切さや努力することなどサッカーを通して人生を学ばせてもらったので、故郷・滋賀の育成年代の選手や指導者を育てることに力を入れたと思います。そして、いつか男子サッカーの代表監督に挑戦してみたいですね。
大道 ● 日本のサッカーのためにも、これからの活躍に期待しております。まずはロンドン五輪の金メダルですね。できれば私もロンドンに飛んで応援したい(笑)。本日はありがとうございました。



びわこ成蹊スポーツ大学サッカー部のスペイン遠征にて(対戦相手と一緒に。後列右端が監督の望月さん)。

五輪優勝を目指して佐々木監督とチームを高め、人生を学んだサッカーを通して人を育てたい。

ら国内合宿や海外遠征、事前合宿をしてロンドン入りする予定です。

大道 ● 新たな課題はありますか。

望月 ● 一番考えているのは、日本のストロングポイントである協調性、持久力、器用さを高めること。海外の選手よりもやや劣る、個々の身体能力をどんどん伸ばすことも大事です。実はなでしこの下の育成年代には運動能力が高く、テクニクもある選手がいます。長い目でそういう選手を新しく発掘するスカウティングも進めようと思っています。

大道 ● 女子サッカーの層が厚くなっているのですね。

望月 ● 育成年代の課題は中学校に女子サッカー部がないこと。小学生は男女一緒に練習できますが、中学生になって部活がないと、地元クラブチームがない限り他のスポーツに移ってしまう。女子中学生がサッカーをできる環境を整えば、能力をもっと高めることができます。その環境づくりを考えているところです。

前という雰囲気でしたが、現場はいかがでしたか。

望月 ● W杯後は所属するチームのリーグ戦やこれまで経験したことの無いようなメディア対応に追われました。彼女たちはとてもうれしかったようですが、プライベートな時間もあまりない状況で、目に見えないストレスをいっぱい抱えていたと思います。
大道 ● 心身ともに大変お疲れだったでしょうね。

望月 ● 周囲の期待は高かったですが、なでしこたちのあまりの疲れ具合に、私たちは出場権が得られる2位までに入れるかどうか危惧してました。結果的には僅差の試合ばかりでしたが、疲労がピークの中で1位通過した彼女たちに、W杯チャンピオンの貫禄を感じましたね。

大道 ● 望月さんはびわこ成蹊スポーツ大学の准教授でもあります。大学ではどのような科目を教えておられるのですか。

望月 ● スポーツ情報戦略コースで、スポーツデータを現場に活用するために、サッカーを中心とした映像分析やゲーム分析などを指導しています。「なでしこジャパン」での取り組みも話すので、学生は興味を持って聞いてくれます。

大道 ● 大学には体育教師や指導者を目指す学生が多いと聞きます。から、実践力がつくことでしょうか。同大の教授の松田保さんは、守山高専時代のサッカーの恩師ですね。

望月 ● 私が守山高専に進んだのも、びわこ成蹊スポーツ大学で教えるようになったのも、松田先生に声をかけていただいたのがきっかけ。先ほどから「自立した選手を育てる」と話していますが、これは松田先生の教えでもあります。高校時代に選手の自主性を尊重し、自立することの大切さを認識させてくれ、自分でもそのやり方が好きだったので、いつしか私の指導者哲学になりました。

大道 ● これでロンドン行きが決まりました。五輪のピッチに立つってなでしこたちがとても楽しみですね。

望月 ● 目標は言うまでもなく金メダルを取ることに。日本はFIFAランキング4位(2011年7月発表)。女子サッカーは世界トップ3がいつも優勝しているの、世界が認めるナンバー1になるにはロンドン五輪の優勝が必要になってくると思います。今そのためのスケジュールを調整中で、これか